

たばこ対策に関する国際シンポジウム
スモークフリー日本の
ビジョン実現のために

2016年7月30日
国際研究交流会館



たばこ対策に関する国際シンポジウム スモークフリー日本のビジョン実現のために

共催： 世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局、厚生労働省、国立がん研究センター

日時： 2016年7月30日（土曜日）13:30～17:00

会場： 国際研究交流会館 3階会議場

- 13:00-13:30 開場
- 13:30-13:45 開会のごあいさつ
- 厚生労働省
 - 国立がん研究センター
 - WHO西太平洋地域事務局
- 13:45-14:15 基調講演： オーストラリア等のたばこ対策から日本は何を学ぶのか
Simon Chapman AO（シドニー大学名誉教授）
- 14:15-14:30 日本の受動喫煙防止対策 - 進展と今後の課題 -
- 日本の受動喫煙対策について
中村正和（公益財団法人地域医療振興協会 地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター長）
 - 神奈川県の受動喫煙防止条例について
鈴木慎一（神奈川県 保健福祉局健康増進課長）
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45-15:30 受動喫煙防止対策の海外における好事例
- ASEAN諸国の受動喫煙対策 Bungon Ritthiphakdee（Sotheast Asia Tobacco Control Alliance・Director）
 - 北京市の受動喫煙防止条例 Xiuyan Yu（Campaign for Tobacco Free Kids・Senior Legal Advisor）
 - ロシアの受動喫煙防止法制化 Luminita Hayes（World Health Organization・Medical Officer）
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-16:45 受動喫煙防止対策の海外における好事例（続）
- 韓国の受動喫煙防止法制化
Yumi Oh
(National Tobacco Control Center at the Korea Health Promotion Foundation・Division of Policy Governance・Deputy Director)
 - ニューヨーク市の受動喫煙防止条例： 2003年から現在まで
Elizabeth Kilgore
(New York City Department of Health and Mental Hygiene・Bureau of Chronic Disease Prevention and Tobacco Control・Former Director for Communications)
- 16:45-17:00 閉会のごあいさつ
- WHO西太平洋地域事務局
 - 厚生労働省

